

黒埼南ふれあい協議会ニュース

第18号

ふれあいかわら版

広大な「みどりと森の運動公園」を実感

去る11月23日(勤労感謝の日)、午前9時から12時(正午)に掛けて、板井地内の「みどりと森の運動公園」建設現場において、公園見学会が開催されました。概要をご紹介します。

当日は、新潟市関係各課、工事業者の協力を得て実施されました。説明回数は延べ5回、参加者は延べで54人でした。各回の説明は、野球場3塁側スタンド下の一室で、投影された「みどりと森の運動公園整備イメージ図」「球場イメージ図」「室内コートイメージ図」などを見ながら、整備事業の概要説明がありました。

公園面積：約128,000㎡(約350m×約365m)
 緑地面積：約53,200㎡
 園路：周囲園路約1,200m
 遊具施設：アスレチック遊具等 20基
 休憩施設：8基
 トイレ施設：4基
 駐車場：約600台
 調整池：約8,070㎡
 多目的グラウンド：ラグビー1面、サッカー1面、
 ソフトボール2面
 屋外フットサル場：人口芝2面

概要説明を受けてから主に野球場の進捗状況を中心に視察しました。

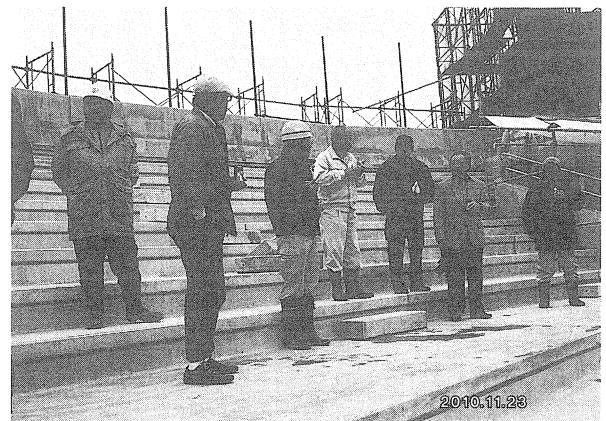
規模：両翼98m、センター122m、
 グラウンド面積約13,500㎡
 建物規模：鉄筋コンクリート造、
 平屋建て、床面積1,662.5㎡
 付帯施設：観覧席、メインスタンドと内野スタンド
 合計3,024席(ベンチシート)
 照明施設：6ヶ所(内野500ルクス、外野300ルクス)
 グラウンド：内野 黒砂混合土、外野 天然芝張り

室内(屋内)コートは、基礎工事を終えた段階で、その偉容を見ることはできませんでしたが、かなり大きな施設であることは実感できました。

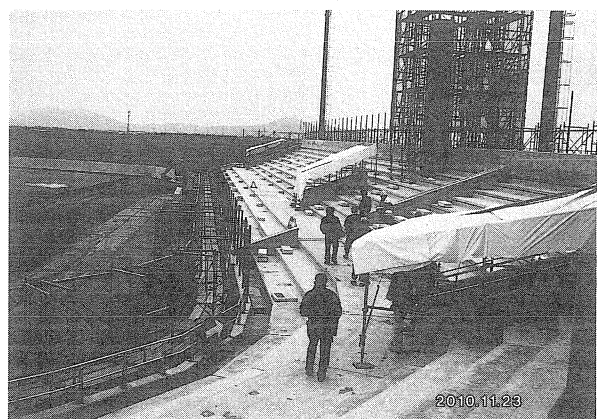
建物規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、
 平屋建て、床面積2,391.9㎡
 主な施設：体育室(フットサル2面、テニス2面、
 ゲートボール4面)
 所要室(事務室、男女便所、多機能便所、
 更衣室兼休憩室、用具庫)

「のぞみの広場」「みどりの広場」「あそびの森広場」は東屋が2基ほど完成済みでしたが、遊具と健康遊具の配置および植栽は来春といった感じでした。因みに、遊具は以下のとおりです。

ローラースライダー、4連ブランコ、ムービング遊具(ウゴウゴ、ニョッキー、リーフィー)、スカイロップ、葉っぱみちアドベンチャー、クライムステーション、グルリン、3連低鉄棒、ツイストモック、ザイルクライミングなど



▲観覧席(メインスタンド)



▲観覧席(1塁側)

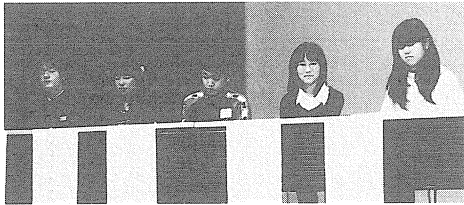
子育て支援・援助と明るい地域づくりを目指し

去る12月4日(土)、黒崎市民会館において、黒崎地区青少年健全育成協議会(以下、「育成協」という。)と黒崎地区PTA連絡協議会による「育成大会」と「研修大会」が開催されました。

第1部の育成大会は、育成協が主管して実施されました。育成協の宗村奎助会長の開会挨拶、飯塚謙助新潟市青少年育成協議会長の来賓祝辞に続いて、善行表彰『若葉賞』個人5人・団体2団体の授与が行われました。

続く地区内小中学校児童生徒代表5人による意見発表では、木場の青木菜美さん(黒崎南小6年)が「私の将来の夢」と題して、北場の笠原司さん(黒崎中3年)が「地球を救う『愛』とは」と題して意見発表を行いました。堂々とした発表

振りで、会場の多くの人々に感動を与えておりました。



▲青木菜美さん(右から2人目) 笠原 司さん(右から5人目)

育成協の大谷一男副会長が講評を行い、青木菜美さんには「目標を立てて努力し、大きな夢に向かって頑張ることを」と激励、笠原司さんには「あまりにも立派な論文でコメントを挟む余地もないでさばえ」と称えておりました。

また、全体として「黒崎地区の子どもたちは、言語能力や言語技術が非常に高いこと」と「子どもたちがゴミ問題で胸を痛めているように、我々大人も真摯に反省しなければならない」と講評されました。

意見発表に続いて今度は、子どもたちと地域の日頃の活動発表です。

立仏小学校からは、遊びの実践の中で親しみを持ちながら防災の知識を高めたことの、立仏小PTA、ふれあい協議会、公民館、西区社会福祉協議会、協働の「立仏ふれあいキッズ・あそぼうさい」の事例発表がありました。

黒崎南小学校からは、黒鳥地区子供会の6年



▲黒鳥地区子供会の長刀踊り

黒崎中学校からは、応援団による黒中節が披露されました。以下に、応援団長の節回しの一

部分を紹介いたします。

「東に中ノ口川の清流をそそぎ、西に霊峰弥彦を仰ぐ、ここは越後蒲原の地に



▲黒崎中学校応援団による黒中節

巍然と聳え立つは、我が中学黒崎である。青山の謳歌の下に馳せ参じ、明日の日本を背負い立つ、我が応援団のつわものどもが、ここに集いし声高らかに、黒中節の一節を、いざ歌わんかな、舞わんかな、いざ狂わんかな。エッサ コリャコリャ この俺は、まかり出ましたこの俺は、黒崎一の力持ち。エッサ コリャコリャ この俺は、まかり出ましたこの俺は、黒崎一の強き者。エッサ見てくれこの身体、柔道で鍛えしこの身体。エッサ見てくれこの腕、空手で鍛えしこの腕。エッサ コリャコリャ」

第2部の研修大会は、黒崎地区PTA連絡協議会が主管して講演会を実施しました。「現代のこどもたちを取り巻く環境と保護者の役割」の演題の下に、県内中学校で非行対策で活躍された元五泉中学校長の石川志郎先生がご講演されました。ご講演の要旨は、次のとおり。

「非行には非社会的非行(不登校、閉じこもりなど)と反社会的非行(万引き、器物損壊など)に大別される。非行の背景には判断力とか思考力が未熟なときに情報が過多になっていることも一因。また、非行に走る子どもは、自己肯定(自分を大切にすること)感が薄い、自己抑制(我慢)ができない、自己決定(自分で決めて自分で実行)する力が弱い、の三つの共通した傾向がある。これらは心理的発達の過程にある赤ちゃん時の生理的欲求、次に成長した時の安全の欲求、次に幼稚園小学校低学年時の所属と愛情の欲求、次の小学校高学年から高校生までの段階の自尊欲求(自己肯定感につながるこの時期が一番難しい)、成人時の自己実現(自分らしく生きたい)の欲求、この五つの欲求が満足されていない、或いは、どこかにつまずいていることに原因がある。」と指摘されました。そして、子どもとの会話は、勇気をくじくメッセージで会話をしているのではないか。是非とも勇気づけるメッセージで会話をしたいことを示唆されました。

〔中途半端で恐縮ですが、紙面の関係で後半の講演要旨は、残念ですが割愛させていただきます。〕